

行 都 1 4 7 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

行方市長 坂本 俊彦



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

貴職におかれましては、日頃より当市の道路行政に対しご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のありました標記の件について、別紙のとおり提出いたしますので、よろしくお取り計らいいただきますようお願いいたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

○ 高規格道路の整備

・ 東関東自動車道水戸線「潮来～鉾田間」の早期整備計画上げと早期事業化

— 高規格幹線道路網をネットワーク化せずに放置することは、今までの投資効果を減殺させ、地域間格差を拡大させるものであるの
で、未整備区間については重点的かつ早急に整備することを要望します。

○ 国道・県道の整備

・ 鹿行大橋の早期架け替え及び国道 354 号の整備促進

— 鹿行大橋及び国道 354 号(一部)については、大型車の通れない交互通行となっており、地域社会や経済活動に様々な弊害を及ぼしています。この路線は、鹿島・鉾田地域と土浦・つくば地域とを結び、地域の連携強化や産業・経済の発展に欠かすことができない重要な路線でありますので、早期に整備されることを要望します。

○ 道路整備の財源確保

・ 市道整備のための財源確保

— 鉄道がなく移動手段が自動車に限られる当市においては、道路整備の財源確保が急務となっておりますが、道路敷きの除草さえ予算化が難しい状況です。道路整備の遅れが安心・安全な生活を脅かし、経済活動への影響に支障をきたし、それが地域間格差に繋がっていると言えます。こうした地域間格差の是正を図る観点からも、道路の整備促進を図るために地方の道路整備の財源を確保することを要望します。

②-2地域の現状と抱える課題

○ 現状

・ 道路網

当市の道路網は、国道 354、355 号の 2 路線と主要地方道水戸神栖線、水戸鉾田佐原線、小川鉾田線及び一般県道 9 路線が幹線道路網を形成しています。平成 20 年 4 月 1 日現在で、市内の国道は約 39km、県道は約 102km、市道は約 1778km です。

・ 整備状況

整備状況は、鹿行大橋の架け替えや水戸神栖線の改良が県により進められています。また、まだまだ未整備箇所が多く存在しております。特に都市計画道路は 4 路線位置付けられていますが、整備率は 6%にとどまっています。また市道についても、4m 未満の狭隘道路が約 78%存在し、救急活動への支障が懸念されています。

・ 東関東自動車道水戸線「潮来～鉾田間」早期開通への期待

当市を通過する予定の東関東自動車道水戸線「潮来～鉾田間」については、現在、基本計画区間に止まっております。この区間がつながることによって、産業・経済の発展、緊急患者の搬送、周辺都市との連携強化等、当市の発展に寄与する様々な効果が期待されております。そのためにも早期の整備計画格上げ、事業化が待たれています。

○ 課題

・ 幹線道路の整備

平成 19 年 4 月に鹿島鉄道が廃線となり、当市における移動手段は、自動車に限られます。道路網の整備、特に国土の骨格を形成する高規格幹線道路網をネットワーク化することは、産業の発展や利便性の向上に欠かせません。また、少子高齢化や財政悪化が進展する中、周辺都市との役割を分担し、相互にその機能を補完しあう必要があります。それには、交流や連携につながる幹線道路網をいかに充実させていくかが課題となっています。

【具体的な課題】

- ・ 東関東自動車道水戸線「潮来～鉾田間」の早期開通
- ・ 北浦、麻生 IC にアクセスする交通軸の確保
 - － 鹿行大橋の架け替えを含めた国道 354 号の整備
 - － 荒井行方線、都市計画道路路粗毛・石神線の整備

②一2地域の目指すべき将来像

茨城県行方市

○東関東自動車道水戸線開通効果によるまちづくり

東関東自動車道水戸線開通により広域的な高規格道路ネットワークが構築されることで、当市への交通アクセスが飛躍的に向上します。市内ICから市内各地への幹線道路の整備を進め、北浦複合団地や新原工業地区への企業誘致も進めていきます。これによる生産機能の向上、物流機能の整備、商業の振興などによる市街地形成の促進などを目指していきます。また、交通アクセスの向上により来訪者を増加させるよう当市の水辺などレクリエーション資源を生かしたまちづくりを進めていきます。

今後の道路行政全般についての意見・提案

様式④

茨城県行方市

③道路施策の重点事項(代表事例, 期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・国際競争力強化のための交通サービスの向上	・東関東自動車道水戸線「潮来～鉾田間」の早期開通	・茨城空港や成田空港, 常陸那珂港, 鹿島港などの主要拠点が首都圏や県都水戸と繋がりに陸・海・空のネットワークが完成し, 沿線に立地する企業の国際競争力が増す。	
・地域の活力向上	・東関東自動車道水戸線「潮来～鉾田間」の早期開通及びVICにアクセスする道路の整備(鹿行大橋の架け替え, 荒井行方線, 都市計画道路路粗毛・石神線の整備)	・北浦複合団地, 新原工業地区(準工業地域)への企業の進出が促進され, 雇用の創出が人口の増加に繋がりに地域振興に寄与する。 ・首都圏からの観光客の増加。 ・周辺都市との連携・交流が進み, 相互に役割を分担できる。	
・都市交通の快適性 利便性の向上	・東関東自動車道水戸線「潮来～鉾田間」の早期開通 ・鹿行大橋の早期架け替え(国道 354 号の整備促進)	・高速バスの発着など, 市民の利便性が向上する。 ・農産物の迅速な販売及び販売網の拡大。 ・救急患者の搬送時間短縮。 ・現在の鹿行大橋は, 大型車が通行できない交互通行となっていることから, 架け替えにより夏季の渋滞が緩和され, さらには物流の促進, 観光客の増加等, 様々な効果が期待される。	